

◆NEW

2012年9月19日付の米『ニューヨークタイムズ』（NYT）の尖閣問題に関する記事は、中国『人民日報』の社説をそのまま引用している部分があると、ロバート・キャンベル東大教授が指摘した。その部分とは、「どうして日本は新たに失われた10年を求めるようなことをするのか。20年も歴史を遡るようなことをしようとするのか。中国は常に経済カードを非常に注意深く切ってきた。しかし、主権をめぐる争いで、もし日本が挑発を続けるならば中国もその戦いに立ち上がるだろう」。

『NYT』ばかりではない。英『タイムズ』も18日付の反日デモに関する記事ではこんな見出しを付けた。「日本の短気で性急な言動は日本全体に冷たい風を吹かせている」

米英紙とも、いまや東アジア報道の拠点北京。東京が拠点だったのは10年ほど前までだ。それに、欧米メディアの記者は、尖閣がどこにあるかも知らないうえ、なぜ、そんな無人島が重要なのかの地政学的意味もわかっていない。